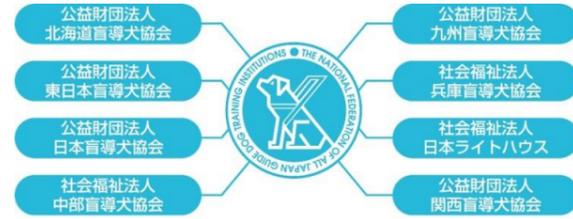


令和5（2023）年度 事業活動報告・活動計算書

（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

認定特定非営利活動法人 全国盲導犬施設連合会

事業活動結果



「ともに生きる、ともに歩む」を共通の理念に、視覚障害者が盲導犬を使用し自立と社会参加を図れるよう、全国の盲導犬訓練施設法人施設の連合体として、広く盲導犬の普及啓発、相談、盲導犬無償貸与ならびにフォローアップへの助成・補助等を実施した。

1. 普及啓発事業

- 1) 広報誌デュエット33号15万部、ポスター6千枚を作成配布、ならびに店舗等の入口に貼っていただく補助犬同伴可ステッカーを無償配布した。
- 2) 視覚障害者向け盲導犬情報（点字版、墨字版、CD版）を2回（9月31号、3月32号）発行し、盲導犬ユーザー、盲導犬育成施設、点字図書館、都道府県視覚障害者担当部局などに配布した。
- 3) 啓発イベント（盲導犬ふれあい教室など）を、全国で合計49回実施した。
- 4) 寄附・募金箱設置協力企業へ、良い機会を捉えて感謝状を贈呈・郵送し、感謝の意を伝えた。
- 5) 連合会オリジナル盲導犬カレンダーを例年通り作成し、寄附者や関係各所へ配布し、盲導犬事業への理解と普及の促進に努めた。
- 6) 大手スーパーに設置している等身大盲導犬募金箱について、62台の新規導入、14台の修理入替を行い、盲導犬事業への協力と依頼に努めた。
- 7) DUETサポーター向けの活動報告書DUETサポーター通信VOL.4を400部発行し、サポーター会員および支援企業へ配布した。
- 8) ホームページをリニューアルし、新たな広報活動の場として公式フェイスブック、公式エックスを新規開設した。
- 9) パトラッシュ基金では、日本アニメーションのイベントにて広報および募金活動を行った。
- 10) パトラッシュ募金箱に備え付けのリーフレット5千部を刷新した。



2. 相談室事業

- 1) 盲導犬貸与希望、入店拒否、使用者相談、事業者・市民からの相談など135件の受付対応を行い、加盟施設と協力してすみやかに具体的な解決を図った。
- 2) 盲導犬の不適正使用の目撃クレーム通報について、加盟施設と連携して調査を迅速に行い、その結果と対応を通報者に丁寧に説明して、盲導犬事業に対する理解を図った。
- 3) キャリアチェンジ犬の飼育状況の把握について、オンラインで全体会議を設け、現状と対策について協議した。



3. 資格認定事業

- 盲導犬訓練士4名、盲導犬歩行指導員3名の計7名を、資格認定審査要綱に則り、以下のとおり知識・技能を確認し、資格を認定した。
- ・学科修得確認テストを8月と12月に実施
 - ・資格認定審査要件のスクーリングを9月、11月開催の連合会加盟施設職員相互研修に組み込み実施
 - ・実技審査会を2月に事前収録映像を用いてオンラインにて開催
 - ・資格認定委員会を4月、5月、9月、10月、2月の5回開催
 - ・3月開催の理事会に本年度の資格認定者を付議



4. 研修事業

- 1) 連合会加盟施設職員相互研修事業を、本年度は計7テーマ開催し、現地開催にて3テーマ「パピープログラム」「訓練研修」「犬舎管理」を、オンラインにより4テーマ「盲導犬使用者のスマホ利用における歩行関連アプリ・サービスの実際と、安全な活用法について」「繁殖・出産」「ボランティア対応」「フォローアップについて」を実施した。
- 2) 盲導犬訓練士ならびに盲導犬歩行指導員の資格認定審査申込者を対象にしたスクーリングは、加盟施設職員相互研修への参加、さらに歩行指導員に関しては資格認定委員会での事例発表を要件とし実施した。

5. 使用者団体との相互協力事業

都内の戸山サンライズで開催された全日本盲導犬使用者の会(全犬使会)総会、交流会協力は、近隣施設の協力を得て職員を派遣した。

6. 情報交換及びネットワーク構築事業

- 1) 加盟施設の責任者全員による運営委員会を4回開催し、盲導犬の育成訓練と普及、事業に係る諸課題について協議した。
- 2) 令和4年度（2022）盲導犬訓練施設年次報告書「(社福)日本盲人社会福祉施設協議会編」の印刷と関係部署への発送を行った。
※令和6年3月末日現在、国内の盲導犬実働数は796頭。国内の盲導犬育成訓練指定法人全11団体が令和5年度中に育成した盲導犬の頭数は100頭。内訳は、新しく盲導犬ユーザーのパートナーとなった盲導犬は27頭、2頭目以降の代替犬は73頭。
- 3) ANACargoによる盲導犬割引輸送協力の利用は、計8回行った。

7. 財政基盤支援事業

- 1) 加盟施設の貸与中盲導犬全609頭について、犬の健康管理、使用状況確認、ユーザー相談等を行うフォローアップに必要な費用の一部助成を行った。
- 2) 盲導犬の無償貸与と促進を図るため、加盟施設が実施する盲導犬無償貸与にかかる費用の一部助成・補助（1頭200万円）を、希望する視覚障害者に施設をとおして行った。助成として4頭分、連合会「特定資産積立金」取り崩し補助として4頭分、合わせて8頭分（1600万円）を行った。

8. 調査研究事業

本年度、調査研究は実施しなかった。

9. 国際交流事業

4月にカナダのバンクーバーで開催された国際盲導犬連盟セミナーに参加した7施設の職員の参加費・旅費等の助成及び共通経費の通訳料について助成した。

10. 顕彰事業

本年度、該当者はいなかった。

活動計算書

（単位：円）

1) 収益の部		金額
大科目	中科目	
受取会費	正会員受取会費	800,000
	計	800,000
受取寄附金	個人寄附金	15,902,670
	団体・法人寄附金	6,270,169
	特別寄附金	10,854,592
	募金	58,711,844
	計	91,739,275
その他収益	受取利息	6,298
	指定正味財産振替額	8,000,000
	計	8,006,298
経常収益計		100,545,573
2) 費用の部		金額
大科目	中科目	
事業費	人件費	25,283,722
	普及啓発事業費	14,206,441
	相談室事業費	515,294
	資格認定事業費	728,487
	研修事業費	1,199,310
	使用者団体相互協力事業費	81,650
	情報交換・ネットワーク事業費	1,176,925
	財政基盤支援事業費	36,660,000
	調査研究事業費	52,766
	国際交流事業費	3,000,000
	顕彰事業費	0
	計	82,904,595
管理費	人件費	2,801,454
	その他管理費	3,729,703
	計	6,531,157
経常費用計		89,435,752
当期経常増減額		11,109,821